

## 九州産切花の評価と産地の展開条件

河野恵伸 (九州農業試験場)

Yoshinobu Kono : Marketability of Cut Flower Produced in Kyusyu

### 1. 課題

本稿では、九州産切花の東京市場における評価と市場条件を明らかにし、産地の今後の展開条件を検討する。

### 2. 方法

東京市場における九州産切花の評価について、市場関係者から聴取調査を行った。対象市場は、東京都中央卸売市場に入場している2卸売会社、3件卸業者、及び都内の中堅2地方卸売市場であり、対象品目は九州地域で主に生産されている切花である。

### 3. 九州産切花の評価

九州産切花がどのように評価されているのかを、代表的な産地の例でみてみる (第1表参照)。

①大・中輪ギクを生産している福岡県の産地Yは、量はA、品質はAの下～Bの上、選別はAであった。この産地は品種、色などを絞込んだ生産をしているブランド産地である。それにもかかわらず品質評価が低いのは、愛知県の産地Sや産地Tに日持ちや水揚げの点で劣るためである。

②宿根カスミソウを生産している熊本県の産地Kは、量はA、品質はAの下、選別はAの下であった。この産地は比較的高い生産水準にあるが、12月以前と以降で品質の格差が大きいこと、ボリューム感がなく花しばみの早いこと、軟弱でしなやかさが少ないことなどの指摘があり、和歌山県の産地K、静岡県産地M等に劣る。

③小ギクを生産している沖縄県の産地Tは、すでにトップブランドとしての地位を確立している。この産地の小ギクは春季の東京市場を独占し、市場としてはこの時期に沖縄県の小ギクが入荷しなければ品不足になる。このような産地の評価は良好である。

④新規参入した産地が多い大分県、宮崎県については、「これからである」、「期待している」等評価するにはまだ早いということである。

このように市場からの九州地域の産地に対する指摘事項や要望は、先進産地では形状や水揚げの改善、後発産地では品種の特性にあった生産や数量の確保、選別の徹底、年々の品質格差の是正、輸送方法の改善等である。

### 4. 産地展開のための市場条件

現在、東京や大阪の大都市を中心に花き卸売市場が統合大型化している。それまでの小規模市場では手狭になったことや集荷力に限界があることから統合が推進されているが、産地にとってのメリットは、数量変動に対する価格変動が以前より小さくなる点である。

また小売り側のメリットは、一つは品揃えであり、二

つは統合と同時に流通の近代化が行われ、他産業や量販店などの新規参入が容易になった点である。他産業や量販店の参入により、今まで裾ものであった品にも需要が生まれ、生産者にさらなるメリットが生じている。

このように大都市の卸売市場の整備は進んでいるが、九州地域の市場は一部を除き従来からの零細な地方市場 (以下、地域市場) が点在している状態である。新興産地は、品質にばらつきが大きく、秀品率も低いため大都市の卸売市場では値が付きにくい、地域市場では量的に受け入れる能力がない。共選産地が九州地域の市場に出荷する条件は整っていない。

### 5. 考察

以上のように、九州産切花には改善の余地があるとこと、市場の大型化等、市場条件が変化していることが明らかになった。それらを踏まえた今後の九州地域の切花産地の展開条件は以下のように整理することができる。

①一定品質のものを定時定量販売できる体制の整備。そのためには、共販組織による苗の供給から出荷までの全段階での指導の徹底、施設化の推進、優良農家の離脱防止、育種や栽培技術などの試験研究の充実や普及体制の強化などが重要である。

②地域市場の充実。新興産地の荷やすでにブランド化した共選産地の荷を受け入れるためには、ある程度の規模が必要である。また、地域市場も大都市市場に遅れることなく市場条件の整備を進めることが、九州地域の産地の展開にとって重要である。

第1表 東京市場における九州地域各産地の評価

県・産地	品目	評価		競合産地 (トップ)	指摘事項
		品質	選別		
福岡	Y 輪ギク	A~B	A	愛知S, T	日持ち・水上げ
	K 輪ギク	B	B	〃	開きが早い
	I, K デンファレ	A	A	沖縄	数量の確保
熊本	A 輪ギク	B	B	愛知S, T	関西中心
	K 宿根カスミソウ	A~B	A~B	和歌山, 愛知	時期による格差
	K スターチス	A~B	B~C	四国	品種が少ない
	K トルコギキョウ	B~C	B~C	愛知, 静岡	出荷時期が悪い
	M カラー	B	A~B	千葉K	日持ち
鹿児島	B 輪ギク	B	B	愛知S, T	土壌管理, 数量
	K スプレーギク	B	A~B	愛知Y	品種構成で期待
	K 小ギク	A~B	A	千葉, 沖縄	数量の確保
	K ユリ類	B	B	静岡, 千葉	日持ち
	O グラジオラス	A	A~B	独占	天候が出荷左右
沖縄	T, O 輪ギク	A~B	A~B	静岡, 愛知	天候に生産左右
	スプレーギク	B~C	C	愛知T	栽培技術の確立
	小ギク	A	A	独占 (期間)	競合がない
	デンファレ	A	A	独占	荷造りの仕方
佐賀					数量の確保 グループ中心
長崎					関西中心 グループ中心
大分					これからである 伸びている
宮崎					まだまだ伸びる 期待している

注) a) 東京都中央卸売市場に入場している2卸売業者、3件卸業者、東京都内の2地方卸売市場を対象に聴取調査を実施。  
b) 評価はA, B, Cで採点。